

体験活動参加型＋講演会型＋在宅取り組み型（小学校）

学 校 名	神戸町立下宮小学校
実 施 日 時	平成28年度11月29日（火）～
会 場	各家庭（実践）→学校（文集にして各家庭に配布）
参 加 人 数	154名（全児童）・112名（全保護者）
学習課題（分野）	文集作成（親子読書）
運営者の願い	下宮小学校では朝の読み聞かせに加え、ビブリアバトル、春と秋の読書週間、もみじ祭りや図書館の本を充実させる等、本にたくさん携わってきています。家庭教育学級においても読書を取り入れ、親子読書などで同じ時間を過ごし、家族のふれあいを深めていければと思いました。

学 習 の 内 容

<文集作成の取組について>

今年度の文集のテーマは、「ぼくのわたしの心に残った思い出の本」です。

取り組み方法としては、

- ①親子で読書をしたり、本を選んだりする。
- ②本を選んだ理由、内容や感想等を親子で一緒に考え、原稿用紙に記入する。

先生方、PTA会長にも協力していただき、お薦めの本や本に対する思いを書いていただきました。



<文集依頼の文書と原稿の配布>

11月29日（火）に母親委員会から各家庭に文集の実施とテーマの説明・協力を依頼する文書と記入する原稿を配布しました。

原稿用紙はわかりやすさと統一感を持たせる為、学年ごとに様式を区別し作成しました。

<原稿用紙の編集・確認>

原稿用紙を回収後、原稿のチェックをし、学年ごとにまとめ、一冊の本に仕上げました

<本の読み聞かせについて>

保護者とボランティアさんによる朝の読み聞かせを、月1回実施しています。

子供たちは、この時間をとても楽しみにしています。読み聞かせを希望する保護者も増えてきました。今後も続けていきたい取り組みです。

<文集原稿より>

- ・ ぼくは虫が大好きです。土の中のようなすを見る事ができるのでおもしろいです。（1年男子「地面の下のいきもの」）
- ・ おばあちゃんが買ってくれた本です。お気に入りの本です。（2年女子「ミュウとゴロンとおにいちゃん」）
- ・ 夏休みの読書感想文を書くのに何回も読んだ思い出の本です。（2年男子「みずたまのたび」）
- ・ マンガで書いてあるので読みやすくて、主人公がおもしろいので大好きです。家族で読んでいます。（3年男子「どうくつのサバイバル」）
- ・ お母さんが昔大好きだった本です。私も読んで大好きになりました。（4年女子「こまったさんのハンバーグ」）
- ・ 私が小さい頃大好きだった絵本です。いつも何度も読んでとせがんだそうです。今は私が妹に読んであげています。（4年女子「うずらちゃんのかくれんぼ」）
- ・ お母さんがよく読んでくれて思い出に残る本です。お父さん、お母さんの忙しさがわかる本なので大人になったらいかしたいと思います。（4年男子「からすのパンやさん」）
- ・ 私が小説を読むきっかけとなった本です。私に本のおもしろさを気づかせてくれました。（5年女子「黒魔女さんが通る!!」）
- ・ 協力したり助け合ったりすることの大切さを感じました。（6年女子「十五少年漂流記」）



在宅取組型にすることで、各家庭のペースで取り組むことができた。学校側と同じ取り組みをすることで、家庭での取組がしやすくなった。親子読書を通して家族の絆が深まった事と思う。各家庭でも本にたくさんふれ、読書の楽しさや大切さを知ってもらえることを願っている。